

令和6年度学校経営方針

宮崎県立日向高等学校

目指す学校像（経営ビジョン）

- 生徒一人ひとりの個性を尊重し、自他を大切に安全かつ安心して過ごせる学校
- 地域・社会と連携し、生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす学校
- チーム日向として、個人の強みを生かしつつ協働できる、風通しのよい学校

多様性確保の視点

外的環境

少子高齢社会・情報社会
グローバル化・地域活性化
日向門川入郷地区唯一の普通科
高校普通科改革
文理融合・科学人材育成

共通性確保の視点

校訓

剛健(たくましいからだ)
信愛(他者への思いやり)
創造(新たなものの創出)

育みたい5つの力 日向高校スクールプライド

- ①生命と個性を尊重し、目標実現に向け協力する力
- ②グローバル人材としての人權感覚と社会貢献力
- ③創造・進取の精神で、主体的に逞しく挑戦する力
- ④疑問を持ち、課題に気づき、粘り強く考え取り組む力
- ⑤未知なる可能性を広げる学習・生活習慣力

重点目標

学習・進路指導
キャリア教育
グローバル教育

生活指導・健康指導
教育環境の整備・充実

広報・募集活動
信頼される学校作り
地域連携・部活動の活性化

主な担当部

教 務 部
進 路 ・ 図 書 部
フロンティア科
渉外・広報・50周年部
各 学 年
各 教 科

生 徒 指 導 部
環 境 保 健 部
事 務 部
各 学 年
各 部 活 動

渉外・広報・50周年部
フロンティア科
教 務 部
生 徒 指 導 部
進 路 ・ 図 書 部
各 学 年
各 部 活 動

具体的方策

- ・45分授業を支える授業力の向上
- ・放課後講座の工夫と充実
- ・授業のICT化をはじめとした諸課題に対応するための校内研修の充実
- ・台湾の大学への進学推進と多様な進路や大学入試制度に対応する工夫と分析
- ・資格取得の積極的推進と指導の徹底
- ・フロンティア科課題型学習と総合的な探究の時間の活用・深化
- ・科学の甲子園等の各種コンテストへの積極的参加
- ・進路図書の充実と図書館活用の促進
- ・カリキュラム・マネジメントの充実

- ・人權教育の充実
- ・命を大切にする教育の充実
- ・基本的生活習慣の確立
- ・規範意識とマナーの向上
- ・部活動を通したリーダーの育成
- ・ボランティア活動の推進
- ・美化意識の高揚
- ・常在危機意識の徹底

- ・オープンスクールや学校説明会などの広報活動の充実
- ・学校の魅力づくりと学校案内パンフレットやホームページ等を活用した発信の強化
- ・「新しい普通科」や「新時代に対応した高校授業改革」研究指定校としての学校を挙げた積極的な取り組み
- ・50周年行事準備と同窓会と連携した学校活性化の取組の検討
- ・関係教育機関及び地域との連携
- ・PTA活動の活性化

生徒に身につけさせたい5つの力（日向高校スクールプライド・・・日向SP）

- ①協働力・・・生命尊重を基盤に、互いに個性を尊重し、目標の実現に向けて協力し合う力を身につけます
- ②グローバル力・・・優れた人權感覚と社会への関心を育み、積極的に社会に貢献するグローバル能力を身につけます
- ③剛健力・・・心身共にたくましく、果敢に挑戦し粘り強く取り組む力と、力強く集団を牽引する力を身につけます
- ④創造力・・・疑問を持ち、社会に横たわる課題に気づき、課題解決のために考え抜き、創造する力を身につけます
- ⑤習慣力・・・未知なる自己の可能性を広げるため、好ましい生活習慣と学習習慣を維持する力を身につけます

重点目標及び達成のための視点

I 目指す学校像(経営ビジョン)

- 生徒一人ひとりの個性を尊重し、自他を大切に安全かつ安心して過ごせる学校
- 生徒一人ひとりの可能性を見出し、地域・社会と連携し、最大限に伸ばす学校
- チーム日向として、個人の強みを生かしつつ協働できる、風通しのよい学校

II 目指す生徒像(次の5つの力を身につけた生徒を育成する)

- ①協働力……生命尊重を基盤に、互いに個性を尊重し、目標の実現に向けて協力し合う力を身につけます
- ②グローバル力……優れた人権感覚と異文化への関心を育み、積極的に社会に貢献するグローバル能力を身につけます
- ③剛健力……心身共にたくましく、果敢に挑戦し粘り強く取り組む力と、力強く集団を牽引する力を身につけます
- ④創造力……疑問を持ち、社会に横たわる課題に気づき、課題解決のために考え抜き、創造する力を身につけます
- ⑤習慣力……未知なる自己の可能性を広げるため、好ましい生活習慣と学習習慣を維持する力を身につけます

III 重点目標及び達成のための視点

1 生徒一人ひとりの良さを認め、規律正しく、充実した、安心安全な学校生活を創造する

- (1) 命を大切にする教育を充実させるとともに、HR や講演会などを通して、人権意識の高揚を図る。
- (2) 望ましい生活習慣を確立させ、集会や研修等を通して、規範意識の醸成とマナーの向上を図る。
- (3) 部活動を活性化させ、活動を通して自己肯定感を高め、リーダーシップを育むとともに、学校行事や委員会活動、ボランティア活動の推奨など、様々な教育活動を通して、協働の意識を醸成する。
- (4) 常在危機の感覚を身につけ、防災に対する意識を高めるとともに、環境整備や清掃活動に取り組むことで、美化意識の高揚を図る。

2 生徒一人ひとりの学力向上と進路実現を図る

- (1) 初期指導を充実させ、「授業を第一」に家庭での学習習慣を確立させる。
- (2) 授業研究や校内研修を通して、「45 分間」を最大限に生かす授業力の向上を図るとともに、45 分授業で創り出した放課後講座の工夫と充実により、生徒の個性のさらなる伸長を図る。
- (3) 台湾を始めとする海外の大学進学や留学を積極的に推進し、グローバル人材育成に資する、多様な文化受入の基礎となる人権意識の高揚、ボランティア活動、語学力定着の指標の一つとして実用英語技能検定等の資格取得や、生徒のグローバル意識を醸成する教育活動の展開を模索する。
- (4) 主体的な学習を促し、進路目標の明確化の一助とするため、文理および学際領域への広がり意識した「総合的な探究の時間」や「課題型学習」の充実を図るとともに、進路図書の実践を図り、図書館等を利用した読書活動や探究活動を推進する。
- (5) 「新しい普通科教育」の研究指定を契機として、フロンティア科の魅力アップを検討し、学科の方向性や文理融合のあり方、科学人材の育成の視点からの新たなカリキュラムの開発を行い、総合的な探究の時間の充実、フロンティア科ならではのアイコン的な行事を検討する。また、「科学の甲子園」などの各種コンテストへの積極的な参加を促し、支援する。
- (6) ICT を活用した学習指導を推進するとともに、自宅学習課題の内容の工夫をはじめとして、「個別最適な学び」実現のための研究と実践に取り組み、生徒一人ひとりの学力の向上を図る。

3 創立50周年を契機として、関係機関や地域とのさらなる連携を推進し、広報活動を充実させる。

- (1) 45 分授業と放課後講座の取組、文理のずれにも対応したカリキュラム、台湾等海外留学の推進、部活動の活性化を本校の特色とし、また、新たな特色の創造に努めるとともに、高校説明会やオープンスクール、ホームページや広報紙等を充実させ、学校内外に向けた情報発信を行うことで、広く本校の教育活動の周知に努め、志願者の増加に努める。
- (2) 創立 50 周年の機会に、同窓会・PTA との連携を深め、外部講師の招聘や奨学基金の創設と運用を通して、持続可能な学力向上支援策を実現する。
- (3) 小中高大等の関係教育機関や地域の自治体、関係機関と連携し、これまでの探究活動や課題解決型学習をさらに深化させ、一層の充実を図る。